

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援のぞみ		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 30日	～	令和8年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	3
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 2日	～	令和8年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な発達段階や障がい特性を踏まえた教材の自立課題が数十種類あり、お子さまの発達に役立て、また「できた!」という達成感や自信に繋がっています。	教材開発は常に行っています。 活動プログラムは、アイデアを常に職員より集約し活動に活かしています。	職員のスキル向上。
2	専門性の高い支援	言語聴覚士による専門的な支援を設けており、職員への情報共有や指導を行ってもらい、専門性の高い支援をおこなっている。	施設内だけではなく外部研修等に積極的に参加し、支援のスキルアップをおこない、職員の知識を深めていきたい。
3	少人数で手厚く支援をしている。	お子さま一人ひとりにあった自立課題を提供するなど個別療育の時間を設け、小集団の活動の中でも個々の課題や特性に応じて、個別的な対応をおこなっている。	職員のスキル向上

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	バリアフリー化されていないため、ご利用者さまが知的障害、発達障害、ダウン症などのお子さまと限られ、身体に障がいのあるお子さまの受け入れが困難となっている。	身体障がいを含めて、可能な範囲で幅広いお子さまにご利用いただけるように務めています。	費用に限りがありますが、可能な範囲で取り組んでいきます。
2	ペアレントトレーニングを行っていない。	職員の体制上、職員を派遣しての研修を受講することが難しい。	他の市町村がおこなう保護者向けの講演会や研修の情報提供をおこなう。
3	保護者交流会の機会を設けられていない。	保護者の予定調整が難しく、開催に至っていない。	・保護者の方へニーズチェックを行い、希望に応じて保護者交流会を開催する。 ・オンラインでの開催も検討し、参加しやすい環境を整える。